

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 新宮町

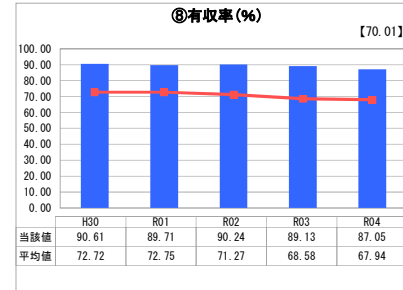
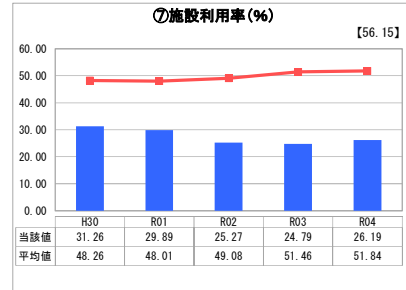
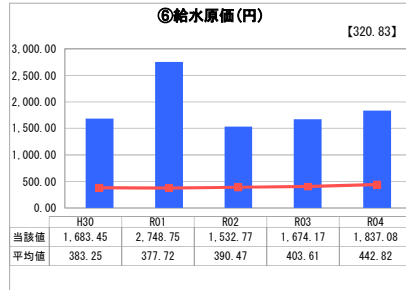
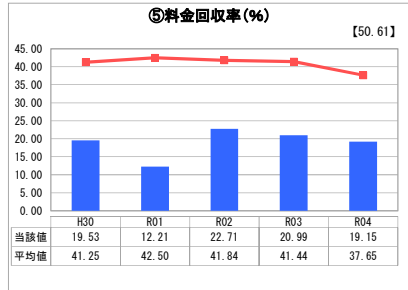
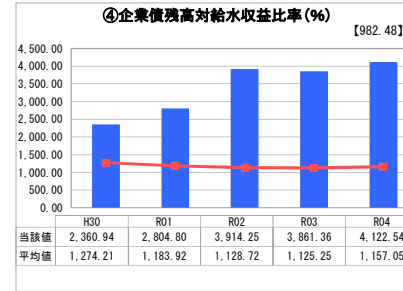
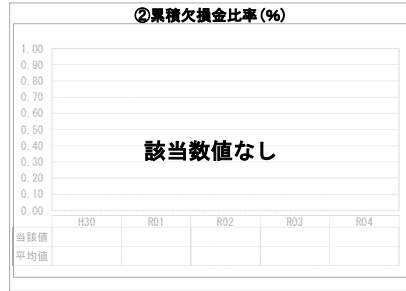
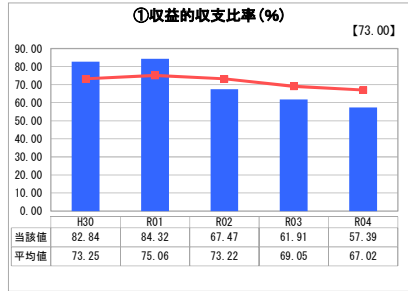
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.67	5,660	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,448	18.93	1,766.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
223	1.25	178.40

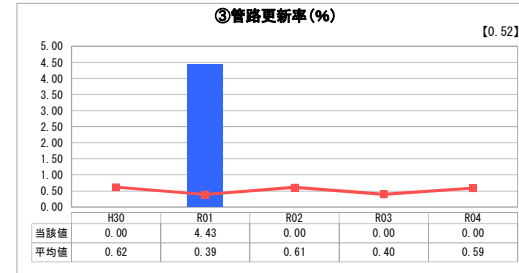
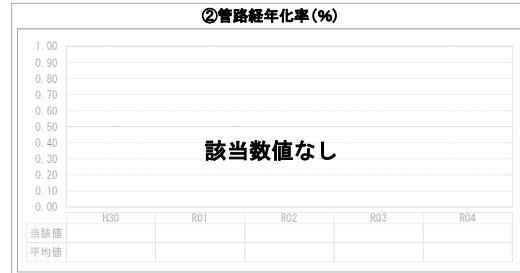
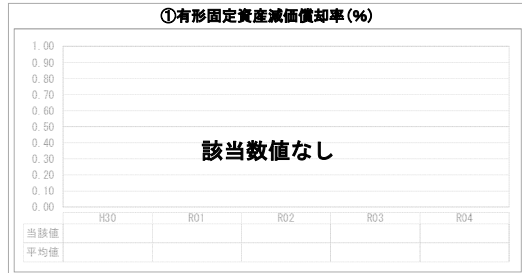
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は離島の相島地区での事業であるため、上水道事業に比べ約1.4倍の料金体系をとっています。収益的収支比率の減少は、総収益が減少し、地方債償還金が増加したためです。料金回収率の減少は、使用料収入が減少したことに伴います。収益的収支比率と料金回収率の更なる改善には、収益の改善が必要となりますが、現地で値上げすることが難しいことと人口減少が進むことが予想され、料金収入の増加は見込めません。今後ますます、一般会計繰入金への依存度は高くなっていくものと考えています。給水原価が高くなっているのは、総費用と地方債償還金が高く、年間総有収水量が低いためです。施設利用率が低くなっているのは、配水能力に対する1日平均配水量が少ないためです。

### 2. 老朽化の状況について

管路更新率が0%であるのは、令和 年度に管路の更新が終了したためです。第2貯水池のシート張替を令和2年度に復旧工事を実施しました。また、令和4年度から令和5年度にかけて、機械電気設備の更新工事を実施しており、大規模な施設整備は完了するため、今後は計画的に改築更新を実施します。

## 全体総括

料金回収率の改善には、給水収益の増加が必要となりますが、現地で高い設定の料金を値上げすることが難しいことと人口減少が進むことが予想され、給水収益の増加は見込めません。また、今後発生してくる各施設の更新とともに、一般会計からの繰入金が増加していくものと考えています。令和6年度からは企業会計に移行するため、令和4年度・5年度にかけて移行準備をしています。公営企業会計法適化後は、資産債務の適切な管理により、計画的な改築更新が可能となり、適切な施設管理を目指します。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

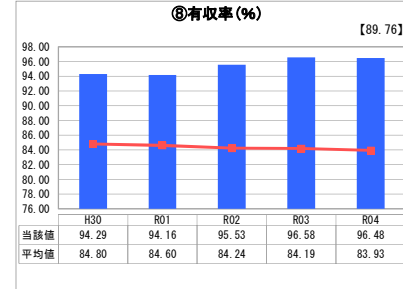
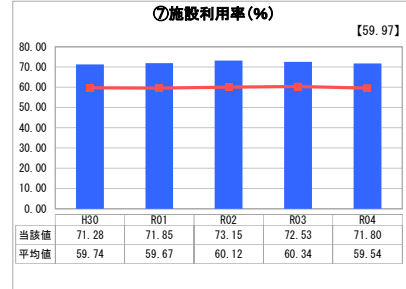
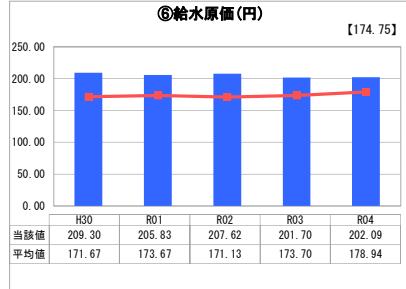
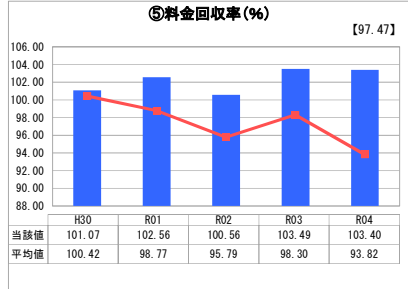
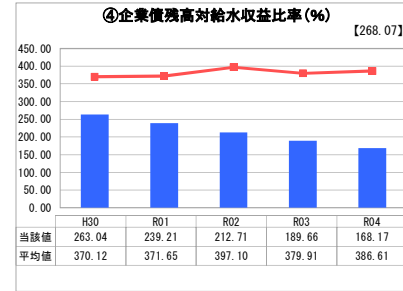
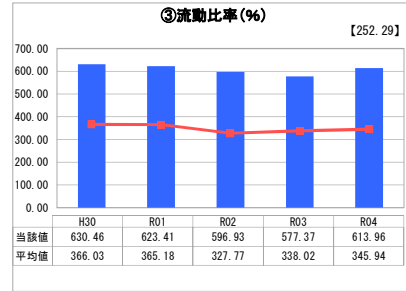
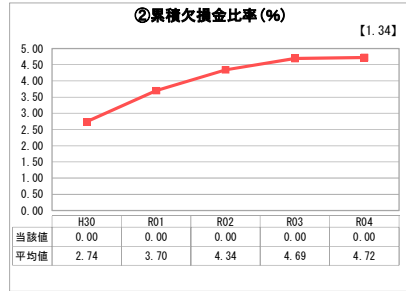
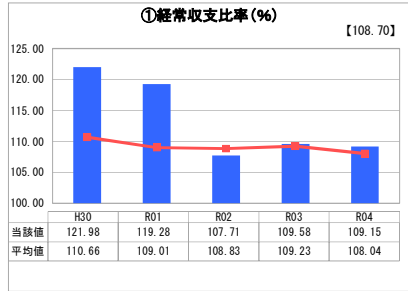
福岡県 新宮町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	80.86	97.64	3,980	

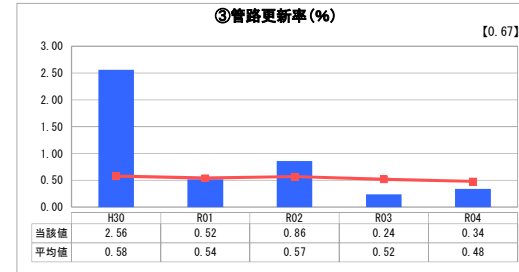
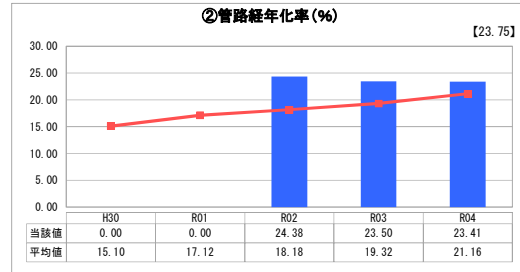
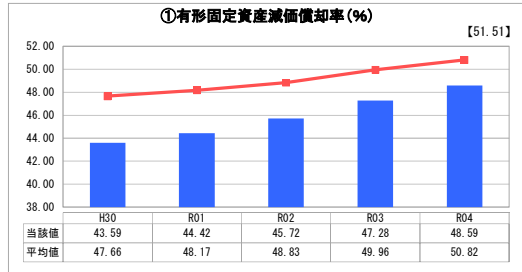
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,448	18.93	1,766.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,532	13.69	2,376.33

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

給水戸数の増加により加入金等の収入があったため、水道事業の経常収支比率は、平成23年度以降毎年100%を越え、区画整理事業が事業決定及び着工しており、使用水量の増加が期待できます。コロナ禍における料金回収率の低下も回復しており、給水にかかる費用は営業収益だけで賄うことができています。

また、給水原価については、新宮町には自己水源がほとんどなく、90%近くを受水で賄っており、福岡地区水道企業団や北九州市に支払う受水費の影響で類似団体平均値よりも高くなっています。

企業債残高対給水収益比率は、新発債の借入を行っていないため減少傾向にありますが、今後収益の大幅な増加が見込めない状況で管路更新を行う予定があり、起債借入による起債残高が増えます。一方で、施設利用率と有収率は類似団体平均を上回っており、効率的な施設運営が行われているといえます。

### 2. 老朽化の状況について

毎年実施している下水道管渠整備に合わせて、配水管の移設・更新を行っています。そのため、有形固定資産減価償却率は類似団体平均よりも低く、管路更新率は大きく変動しています。

管路経年化率が増加しているのは、令和3年度に配水管等の一部が耐用年数を超過したからです。昭和48年に水道事業を開始しており、今後法定耐用年数を超過する配水管が増加していく見込みです。

### 全体総括

毎年実施している下水道管渠整備に合わせて、配水管の移設・更新を行っています。そのため、有形固定資産減価償却率は類似団体平均よりも低く、管路更新率は大きく変動しています。

昭和48年に水道事業を開始しており、今後法定耐用年数を超過する配水管が増加していく見込みです。

今後、料金収入や加入金等収益の大幅な増加が見込めない状況で管路更新や区画整理事業に伴う配水管の新設を行う必要があり、起債借入による起債残高が増えます。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 新宮町

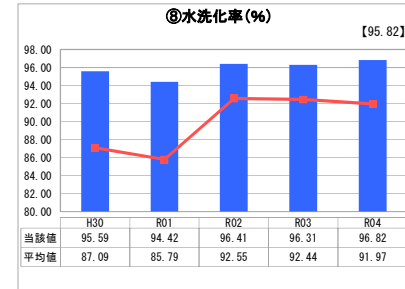
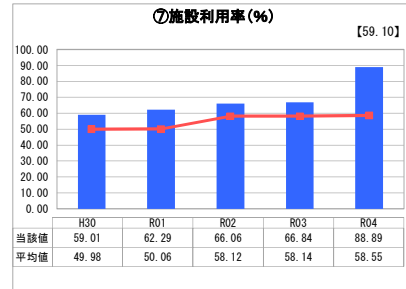
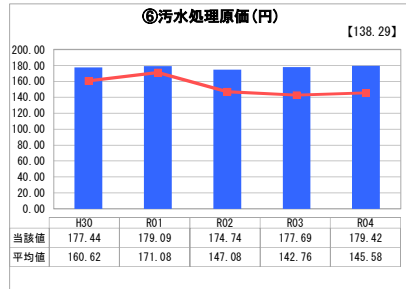
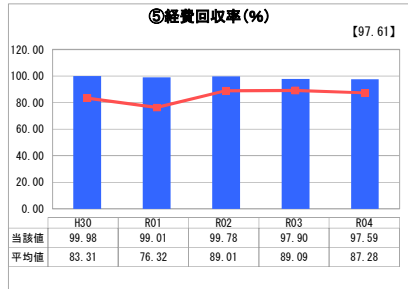
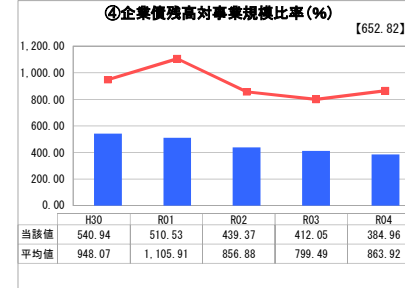
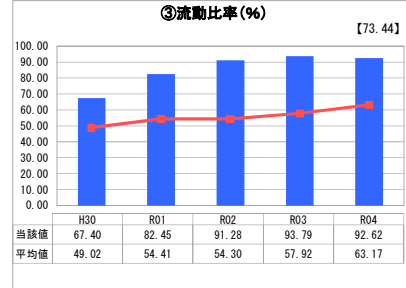
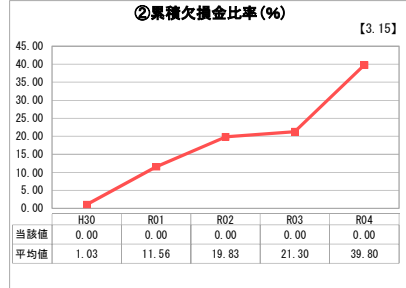
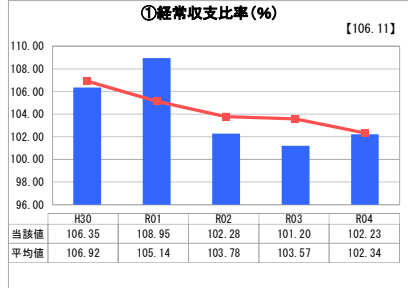
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	60.07	86.42	94.93	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,448	18.93	1,766.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,795	4.48	6,427.46

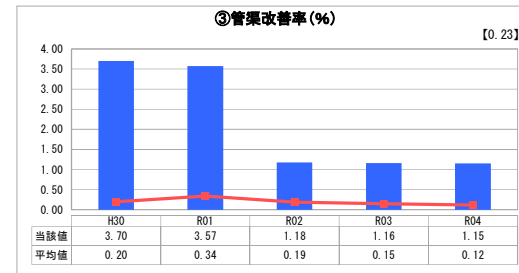
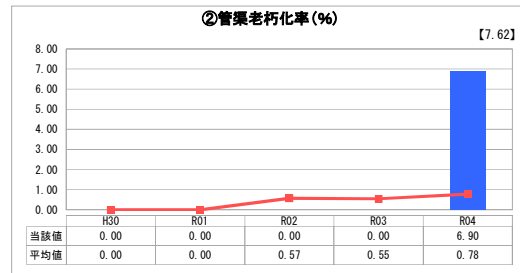
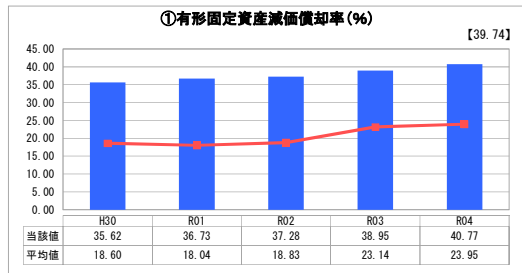
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は新宮処理区（平成2年度供用開始）、中央処理区（平成21年度供用開始）の2処理区での事業です。  
平成30年度から企業会計に移行しています。  
令和3年度の経常収支比率は、微増であり、使用料収入や一般会計繰入金等で維持管理費や企業債利息を賄うことができている状況です。  
経費回収率はほぼ横ばいで推移しています。  
また、水洗化率はほぼ横ばいで推移しており、新規下水道供用開始区域でも下水道への切替工事は順調に進んでいます。

### 2. 老朽化の状況について

施設全体の維持管理計画に基づき、適切な管理をしています。  
なお、新宮処理区は福岡市に汚水処理を委託しているため、和白水処理センターの施設改築更新にかかる費用負担が生じます。  
令和4年度は、三代地区・原上地区の一部区域に下水道を整備しました。今後は、原上地区に下水道整備区域を拡大していく予定です。  
管渠改善率は、令和2年度からと同水準となっています。

### 全体総括

平成30年度に企業会計に移行したことにより、資産の適切な管理や経営状況の把握が可能となりました。  
施設管理では、ストックマネジメント計画にもとづき計画的な改築更新や修繕を実施しています。  
また、下水道整備区域の拡大に伴い、汚水処理原価や処理水量の増加が見込まれています。処理水量の増加に伴い、今後、中央浄化センター処理施設増設工事の予定があります。  
なお、汚水処理原価の増加により下水道使用料の見直しが想定されます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 新宮町

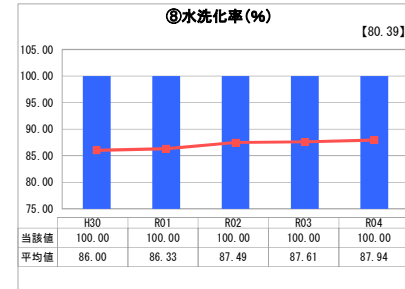
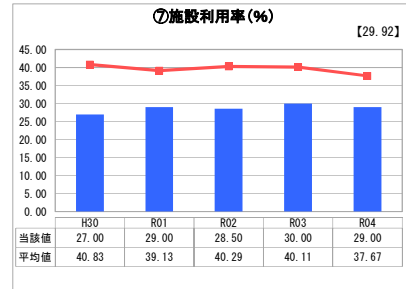
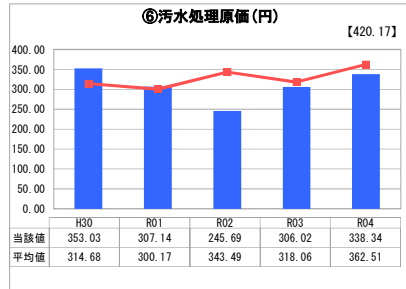
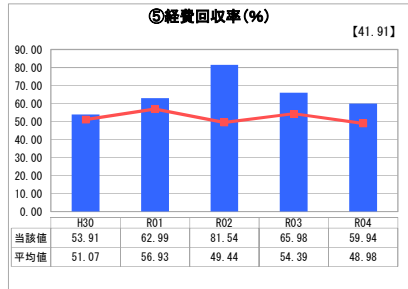
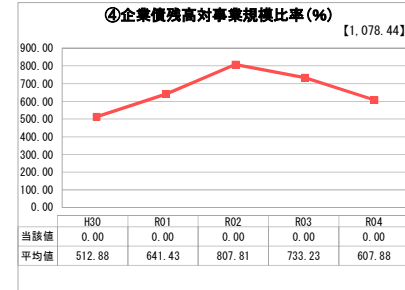
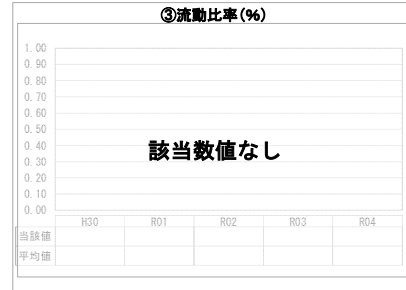
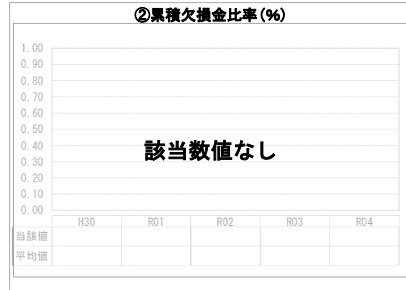
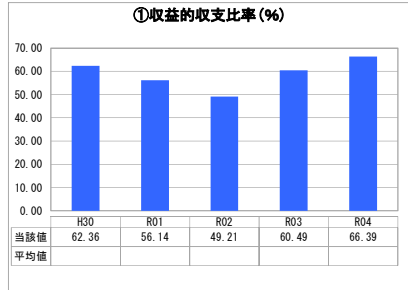
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.67	97.62	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,448	18.93	1,766.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
223	0.09	2,477.78

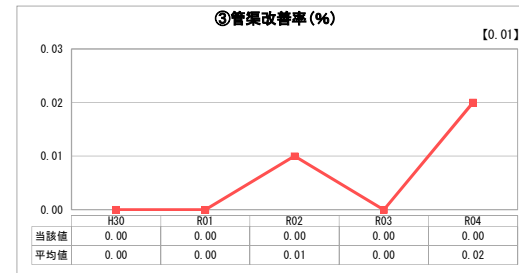
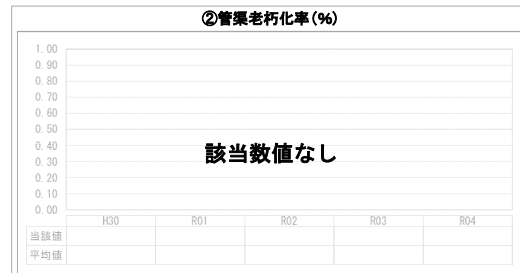
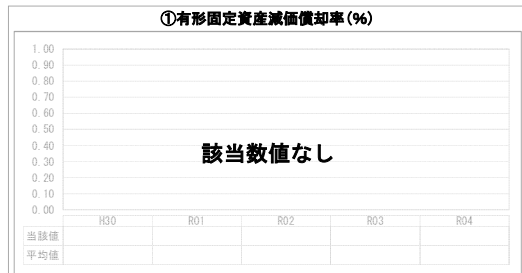
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、離島の相島地区の漁業集落環境整備事業で、水洗化率は100%となっています。収益的収支比率が増加したのは、排水施設工事費の増に伴う一般会計繰入金が増加したためです。経費回収率については、汚水処理にかかる経費の増加や人口減少に伴い料金収入が減少しています。経費回収率の改善には、料金収益の改善が必要となりますが、離島のため下水道使用料金を相島地区外より高値に設定しているため、値上げすることが困難であることや人口減少が進むことが予想され、料金収益の改善は見込めず、より一般会計繰入金への依存度が高くなるものと考えています。

### 2. 老朽化の状況について

施設については、平成26年度～平成27年度において改築工事を実施済みですが、管渠の改築については供用開始から30年を経過していますが未実施のため、今後管渠の改築計画の策定についても見直しを検討する必要があります。

### 全体総括

令和6年度からは企業会計に移行するため、資産債務の適切な管理や計画的な改築更新による経営状況の適正化が求められますが、料金収益の改善を見込めないことや改修資材の高騰などの社会情勢の影響から一般会計繰入金は増加するものと考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。